

"置き配不安"にさよならを! 見守り×補償で安心置き配

秋田高専
園芸科学同好会

1

問題の背景

再配達によって排出されるCO₂は
地球温暖化が進む一因になる

再配達の発生は**トラック運行によるCO₂排出量増加**の
大きな要因となっており、地球温暖化対策を推進する
うえで見過ごせない環境問題となっている

2

1

私たちのアイデア

街に置かれている**宅配ロッカー**を活用して、
再配達となる荷物を減らせないだろうか



3

実践の目的

1

- 宅配ロッカーの利用で不在率を下げる
 - 再配達が減る
 - CO2の削減に貢献する

2

- 宅配ロッカーの安全性を多くの人に周知させる
 - 不在時にはロッカーを使うという選択肢をもってもらう

4

実践の方法

①再配達の環境負荷、この活動を周知

- ・チラシ(11月1日～11月30日) 3000枚

→飯島地区の荷物に貼付(ランダム)

ナイス追分店、マックスバリュ港北店、

ヤマト運輸飯島営業所に置かせてもらう

- ・あきエコどんどんプロジェクトでの掲示

- ・学内掲示板での掲示

- ・高専祭での配布

5

チラシ

工夫①

状況を思い浮かべやすい
ようなイラスト

工夫②

具体的な数字で
再配達の多さを強調



6

実践の方法

②宅配ロッカーの安全性を周知

- ・ポスター(11月1日～11月30日)

→ナイス追分店、マックスバリュ港北店、
ヤマト運輸飯島営業所、学内廊下
学内掲示板に掲示
高専祭中、ブース内の掲示

- ・あきエコどんどんプロジェクトでの掲示

7

ポスター

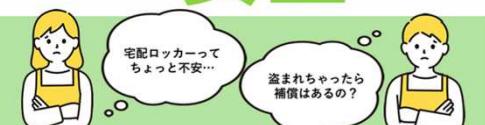
工夫①

自分たちの驚きをそのまま表現

工夫②

安全できるポイントをシンプルに説明

えっ、宅配ロッカーって
こんなに**安全**なの?!



ヤマト運輸の宅配ロッカーはとっても安全!!

人目のある場所に設置＆監視カメラで
防犯対策ばっちり!

簡単には開けられない構造
あなたにしかわからない鍵で盗ませない!

万が一盗難、破損、紛失が生じたら
丁寧なサポート & 最大30万円の補償

ちなみに…
宅配ロッカーを使えば再配達とCO2排出も減らせるんです!

PUDO
Pick Up & Drop Off station

このマーク
が目印!

アンケートに
ご協力ください



8

実践の方法

③アンケート(11月1日～11月30日)

- ・紙面

→チラシの裏
回答でグッズプレゼント

- ・Microsoft Forms

→チラシ、アンケートに記載の
二次元コード読み取りで回答

設問4、6→7で意識変化を見る

9

アンケート

自由記述を取り入れ、意見をもらえるようにした

アンケートのお願い

こちらの紙面でアンケートに回答していただき、ヤマト運輸 秋田飯島営業所へお持ちくださいました方にはアンケートと引き換え(先着順)でヤマト運輸のグッズをプレゼントしております。回答にご協力くだされば幸いです。

(秋田高専園芸科学同好会)

- 宅配便を受け取る際、再配達を利用する頻度はどのくらいですか？
めったに利用しない たまに利用する よく利用する
- 再配達によって排出されるCO2について考えたことはありましたか？
考えたことはなかった 意識している (その他:)
- 今まで宅配ロッカー(PUDO)を利用して荷物を受け取ったことはありますか？
ある ない
- 前問で「受け取ったことがない」と回答された方への質問です。
 その理由はなんですか？ (複数回答可)
使い方がわからない 不安 自宅に設置済み
 (その他:)

5.『宅配ロッカー(PUDO)は防犯対策がしっかりしていて、簡単にはロッカーを開けることができない。さらに、万が一盗難、破損、紛失が発生した場合には、宅配便1個あたり最大30万円の補償が受けられるため、安心して利用することができます。』このことを知っていましたか？

知っていた 知らなかった (その他:)

6.チラシを見る前、宅配ロッカー(PUDO)に対する不安感はありましたか？
 理由があれば「その他」で回答してください。

強い不安感があった なんとなく不安 不安感はない
 (その他:)

7.チラシを見た後、宅配ロッカー(PUDO)を利用したいと思うようになりましたか？

引き続き利用したい 今後は利用したい 利用したくない
 ○今後は利用したくない (その他:)

8.前問の理由をお聞かせください。



Formsでもご回答いただけます。(グッズ引き換え対象外)

10

企業との連携

- ・現状の情報提供
- ・景品の手配、交換
- ・チラシの配布
(配達員さんに配ってもらう、
窓口でのアンケート回収)
- ・結果データの提供

景品



ハンカチ300枚



ボールペン200本



ミニフレイマー10個

11

なぜこの方法にしたのか

私たちが一番驚いたポイント

「宅配ロッカーってこんなに安全なんだ」

ヤマトさんから教えていただいた
宅配ロッカーの**安全性**、**補償の厚さ**におどろき、
認知不足や**偏見**に気づいた

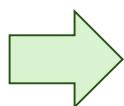
12

認知不足

再配達削減につながる、便利な受け取り方だと
知っている人は少ない？

偏見

自分たちのようになんとなく不安、盗まれそうと
思っている人も少なからずいる



行動変容の第一歩である
「知ってもらう」を目指す



13

結果① ロッカーの利用率

	11月	9月	差	増加率
飯島営業所	164	122	+42	34.4%
マックスバリュ港北店	60	54	+6	11.1%
ナイス追分店	62	54	+8	14.8%
ランドリーモア	47	62	-15	-24.2%
合計	333	292	+41	14.0%

増加率大

チラシの交換、
回答場所
→チラシの
効果あり

飯島営業所、マックスバリュ港北店、ナイス追分店

→ポスター掲示場所、利用率増加

ランドリーモア

→ポスター掲示なし、利用率減少



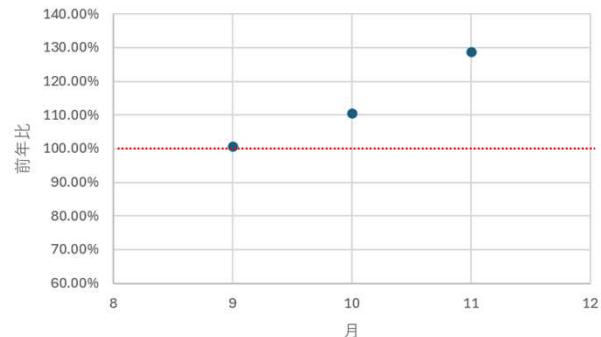
ポスターによる宅配ロッカーの利点の周知に
一定の効果あり

14

結果① ロッカーの利用率

周知をしていない9月と比較し、大幅に増加しているといえる

	前年比
9月	100.70%
10月	110.60%
11月	128.80%



15

結果② 不在率

11月の前年比は9月の前年比に比べて0.1%改善している。

	不在率		
	本年	前年	前年差
9月	5.40%	6.00%	-0.60%
10月 20日～	5.60%	5.70%	-0.10%
11月	5.50%	6.20%	-0.70%

この改善値を個数換算すると、影響個数は437個となる。

	不在個数		
	本年	前年	前年差
9月	2126	2577	-451
10月 20日～	758	823	-65
11月	2467	2665	-198

1個の再配達で排出されるCO2が約470g*
→203.04kgのCO2を出さないようにできた

* クイズ 宅配便の再配達 | 京都府地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議）公式サイト

16

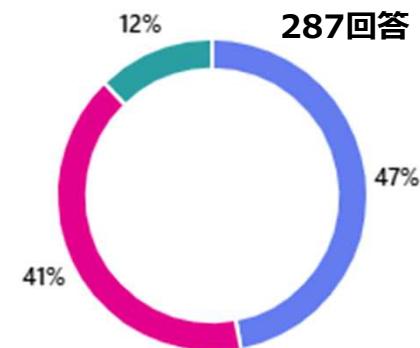
結果③ アンケート結果

意識変化を調査して得られた数値との関係性および原因を考察する

1. 宅配便を受け取る際、再配達を利用する頻度はどのくらいですか？

再配達を「たまに利用する」「よく利用する」と答えた人は半数ほどだった。
再配達が環境に与える影響は大きく、現在のターゲット層は必要に応じて利用している人が多いと考えられる。

● めったに利用しない	135
● たまに利用する	117
● よく利用する	35



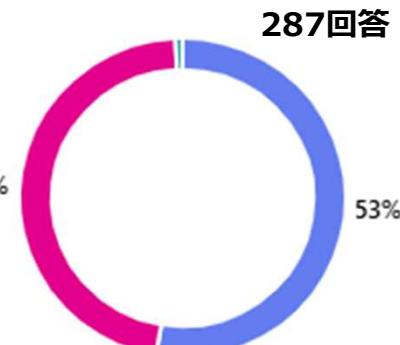
17

結果③ アンケート結果

2. 再配達によって排出されるCO₂について考えたことはありましたか？

「考えたことがなかった」という回答が半数を占めた。
再配達による環境負荷を意識する
機会が少ないことが伺える。
発信が不足していることも要因だと考えられる。

● 考えたことはなかった	151
● 意識している	134
● その他	2

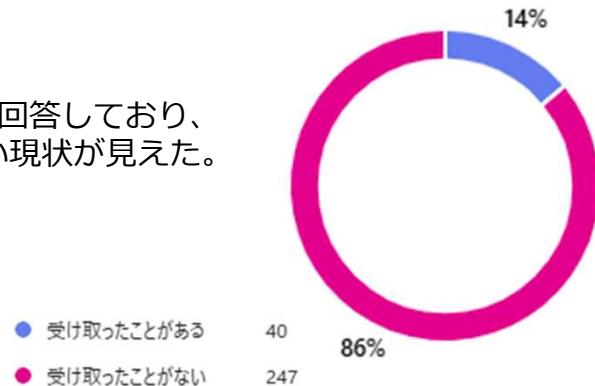


18

結果③ アンケート結果

3.今までに宅配ロッカー(PUDO)を利用して荷物を受け取ったことはありますか？

約8割の人が「利用したことがない」と回答しており、宅配ロッカーがまだ広く普及していない現状が見えた。

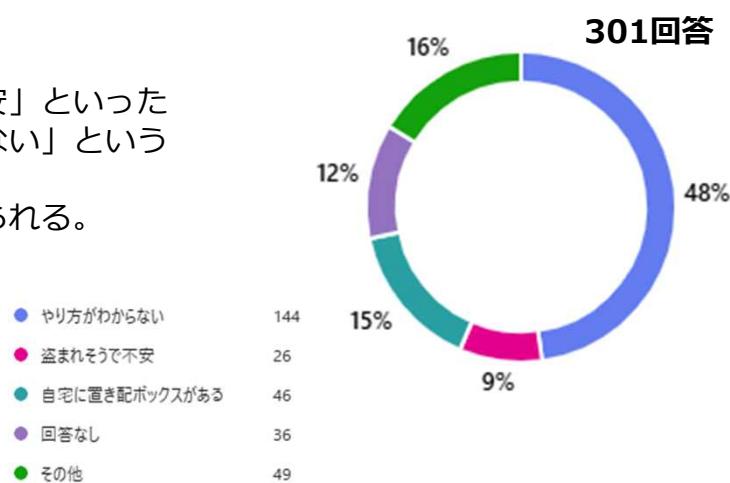


19

結果③ アンケート結果

4.前問で「受け取ったことがない」と回答された方への質問です。 その理由は何ですか？

想定していた「盗まれそうで不安」といった回答よりも、「使い方がわからない」という理由が最も多い結果となった。
使い方の認知不足が課題と考えられる。

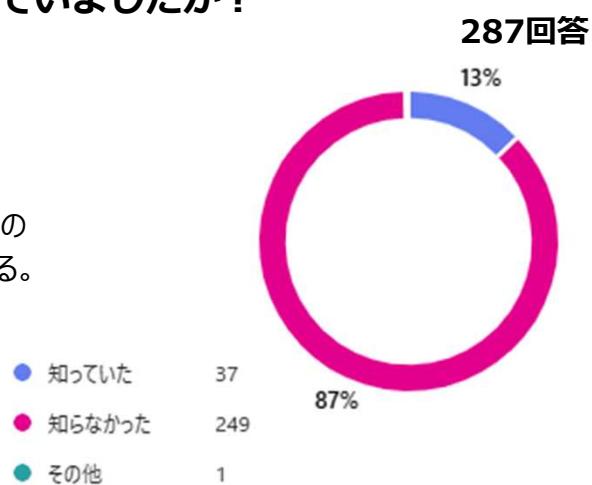


20

結果③ アンケート結果

5.PUDOの安全性と補償制度を知っていましたか？

約9割が「知らなかった」と回答し、認知不足が大きいことが明らかになった。今回の活動で、多くの人が初めて宅配ロッカーの安全性や補償制度を知る機会になったといえる。

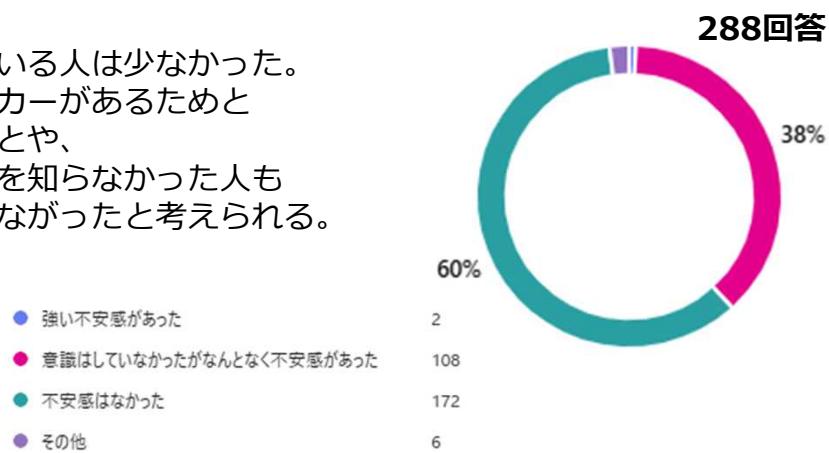


21

結果③ アンケート結果

6.チラシを見る前、宅配ロッカーに対する不安感はありましたか？

想定よりも不安を感じている人は少なかった。最後の設問で自宅にロッカーがあるためと回答した人も多かったことや、宅配ロッカーの存在自体を知らなかった人もいたこともこの結果につながったと考えられる。



22

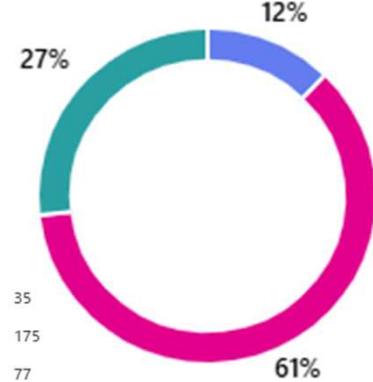
結果③ アンケート結果

7.チラシを見た後、宅配ロッカー(PUDO)を利用したいと思うようになりましたか？

287回答

約7割の人が「利用したい」と回答した。
安全性や補償制度の情報を届けることで
利用意向が大きく高まったことが分かる。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ● 現在も利用していて、今後も利用したいと思った | 35 |
| ● 利用したいと思った | 175 |
| ● 利用したいと思わなかった | 77 |
| ● 現在利用しているが、利用したくないと思った | 0 |



23

結果③ アンケート結果

8.前問の理由をお聞かせください。 189回答

宅配ロッカーを使うメリット・使いたい理由

- ・ドライバーさんの負担を減らせる
- ・再配達が減り、環境にやさしい
- ・自分の好きな時間に受け取れて便利
- ・通勤や外出のついでに受け取れる
- ・置き配より安心して受け取れる



特に、環境意識のある人や、移動手段が確保されている人、
置き配に不安のある人に効果があったといえる。

24

結果③ アンケート結果

8.前問の理由をお聞かせください。

利用されにくい理由

- ・家の近くにロッカーがない
- ・車がないと取りに行きづらい
- ・自宅配達のほうが楽
- ・ロッカーが満杯で利用できなくなることがある
- ・家事や育児でわざわざ取りに行くのが大変



ロッカーの場所が限られること、受け取る荷物や状況によっては取りに行く負担が大きいことが原因として挙げられる

25

結果③ アンケート結果

8.前問の理由をお聞かせください。

「こうだったら利用したい」

- ・家の近くや駅周辺にあれば
- ・通勤途中にあれば
- ・使い方がわかりやすければ
- ・入る大きさなどがわかりやすければ



ロッカーの場所の多さと使いやすさが求められる
使い方の周知も課題点

26

結果

- ・ポスターとチラシによる周知は、宅配ロッカーの利用率に
対して**効果があつた**
- ・活動を行う前の9月に比べ、不在率は**0.1%改善し
203.04kgのCO2排出を抑制**した

→目的1 宅配ロッカーの利用で不在率を下げる **達成！**

- ・使い方がわからないという新たな問題点がわかつた
- ・宅配ロッカーの安全性と補償制度を**知る機会**になった

→目的2 「知つてもらう」を目指す

達成！



27

考察

- ・**啓発を行うことで知らないを知つているに変えられた**
→宅配ロッカーについて詳しく述べている人が少ないのでこそ、
意識変容による**伸びしろが大きい**
アイデアの長所 新しいことを知るほうが衝撃が大きいので印象に残りやすい
- ・**啓発してから効果が得られるまでに手順、見た人の理解が必要**
→最終目標までに**多くの手順**を踏まなければならない
多くの人の目につかなければ効果が得られない
直接不在率を減らすという目標にたどり着ける
方法のほうが効果は得やすいのではないか
アイデアの短所
目標を達成するまでに遠回りをしなければならない



28

改善点

- ・宅配ロッカーをつかったことがない理由を問う設問では「**使い方がわからない**」という理由が最も多い結果となった

→ 使い方を広めるために、**使い方をアピール**
ロッカーの近くに使い方をわかりやすく記す

- ・やはり「**知る機会**」というのは大事！

→ **多くの人の目に触れる機会を増やす**
SNSを活用した情報発信



29

ヤマト運輸さんへの提案

「**知る機会**」を増やす

具体例

- ・荷物に宅配ロッカーの**利便性を伝えるシール**を貼る
→宅配ロッカーの存在を広める
- ・引き続き啓発ポスターを掲示する
(**使い方にフォーカス**したポスターにする)
→「**簡単かも**」と思ってもらえる
- ・ロッカーの設置場所を増やす（難しいかも…）
→目に入る機会が増える



知る機会が多い→ファーストステップの後押し

30

結論

啓発、意識変容という形で宅配ロッカーの利用を促進し
再配達を減らすことで、県民が宅配便を一回で受け取る
アイデアを企画することができた！

